

教 務 旬 報

教務通信 第7号 令和2年8月26日

前期期末考査が始まります

9月2日（水）からいよいよ前期期末考査です。今までの学習の成果を十分発揮できるように、しっかりと準備をして臨みましょう。

さて、中間考査では試験対策が上手くできず、力を出し切れなかった人もいたことでしょう。中間考査で上手くいかなかったことや、できなかったことを思い出してください。そうすれば、今回は点数を伸ばせるはずです。

また、卒業年次生は、就職・進学に向けて、今回の成績が大事な資料になります。最後まで諦めず、妥協せず、自分の限界に挑戦してみましょう。また、各教科の提出物は必ず提出してください。

授業時数のカウントは、期末考査後の9月7日（月）から後期の授業になります。

定期考査受査心得



- 1 考査時、入校許可証は机の上に置き、監督者が確認できるようにする。
（入校許可証の無い者は受査できない。）
- 2 遅刻の場合は直接考査室へ行き、考査終了後遅刻の手続きをとること。
（15分以上の遅刻は欠課扱いとして、考査得点の8割を得点とする。）
- 3 欠席する場合は、必ず学校に連絡すること。無断欠席、正当な理由がない欠席は0点とする。
（公欠・忌引等の再考査は、結果の10割を得点とする。
病欠（テスト前に連絡があり、学校が認めた場合）の再考査は、結果の8割を得点とする。）
- 4 正当な理由があり欠席した場合は、「再考査受験願」を提出し、再考査を受査することができる。
日程については、後日連絡する。
- 5 監督者の指示により、教科書などの荷物をロッカーもしくは教室の前後に置くこと。
（机の中や脇に、荷物を置いてはいけない。）
- 6 机間を十分空けて着席すること。
（63, 73教室での試験については、1つの机で2人着席とする。）
- 7 試験中、机の上には筆記用具（及び入校許可証）以外は置かない。
- 8 途中退出は、原則として認めない。
- 9 万一、体調が悪く受査ができない場合は、担任とよく相談すること。（緊急時を除く）
- 10 携帯電話は、電源を切り（アラーム・着信音等も鳴らないようにする）かばんの中に入れておくこと。
試験中、机の上に置いたり、ポケット等に入れたままにしてはならない。
- 11 不正行為又はそれに類する行為があった者は0点とする。それ以降の考査は受査できない。
（カンニング、私語、態度不良（監督者の指示に従わない）等）
- 12 問題用紙も回収するため、解答用紙、問題用紙双方に記名すること。
- 13 終了と同時に筆記用具を置き、番号順に速やかに後ろから解答用紙、問題用紙を回収・提出する。
※ その他、緊急事態等の場合は、校内放送および監督の先生の指示に従い、落ち着いて行動すること。

令和2年度 第2回 高等学校卒業程度認定試験について

令和2年度、第2回高等学校卒業程度認定試験（高卒認定）についてお知らせします。
本校では、所定の手続きを行った上で、受験を認めています。

○受験の条件

- ①必履修科目または選択必履修科目において、**在籍する部で履修を満たしたが修得できなかった科目の単位修得を目指す者。**
- ②在籍する部並びに併修によっても**履修困難な事由があり**、必履修科目または選択必履修科目の単位修得を目指す者。
- ③実力を試す者。
- ④高等学校卒業程度認定試験による進学を目指す者。**(本校での単位認定は行わない)**

○日程

出願期間	7月20日（月）～9月14日（月）
試験日	11月 7日（土）・8日（日）
結果通知	12月 7日（月） ※発送予定

○受験の留意点

- ①本年度履修登録した科目については、「高等学校卒業程度認定試験」合格科目による単位認定は行わない。
また、教育課程の先取り受験についても認めない。
- ②受験に当たっては、事前に学校へ提出しなければならない書類がありますので、HR担任の先生に**必ず相談**すること。
→単位認定の申請を行わない場合であっても、受験許可が必要です。

<保護者の方々へ>

教務旬報は、ホームページでもご覧いただくことができます。モバイルサイト（スマホで閲覧可能）も対応しています。アクセスは以下のアドレスへ

<http://www.kajogakuen-h.ed.jp/htdocs/定時制の課程/生徒・保護者の方へ/>

もしくは、「霞城学園高校」で検索をお願いします。